

慢性胆管炎・特に肝内結石症での胆管硬化と肥満細胞との関連性・胆管上皮でのStem Cell Factorの発現を中心にして

著者	常山 幸一
著者別表示	Tsuneyama Koichi
雑誌名	平成11(1999)年度 科学研究費補助金 奨励研究(A) 研究概要
巻	1998 1999
ページ	2p.
発行年	2016-04-21
URL	http://doi.org/10.24517/00060815



慢性胆管炎・特に肝内結石症での胆管硬化と肥満細胞との関連性・胆管上皮での Stem Cell Factorの発現を中心にして

Research Project

All

Project/Area Number

10770074

Research Category

Grant-in-Aid for Encouragement of Young Scientists (A)

Allocation Type

Single-year Grants

Research Field

Human pathology

Research Institution

Kanazawa University

Principal Investigator

常山 幸一 金沢大学, 医学部, 助手 (10293341)

Project Period (FY)

1998 - 1999

Project Status

Completed (Fiscal Year 1999)

Budget Amount *help

¥2,200,000 (Direct Cost: ¥2,200,000)

Fiscal Year 1999: ¥900,000 (Direct Cost: ¥900,000)

Fiscal Year 1998: ¥1,300,000 (Direct Cost: ¥1,300,000)

Keywords

肝内結石症 / 肥満細胞 / Stem Cell Factor (SCF) / 肝線維化 / c-kit / 原発性硬化性胆管炎 / b-FGF / TNF- α / stem cell factor(SCF) / 原発性硬化性肝管炎

Research Abstract

1.肝内結石症胆管上皮へのstem cell factor(SCF)の異常発現

肝内結石症、及び対照肝疾患において、門脈域へのSCFの発現を免疫組織学的に検討した。SCFは肝内結石症の拡張胆管に強く発現していたが、非拡張胆管部に発現は見られなかった。原発性硬化性胆管炎では、約20%で、胆管上皮にSCFが発現していたが、正常肝や、対照肝疾患では、上皮へのSCFの発現は1例も見られなかった。

2.肝内結石症胆管上皮、及び周囲線維化部位の肥満細胞における肥満細胞の動態

肝内結石症、原発性硬化性胆管炎のいずれにも、拡張胆管周囲の線維化部位に肥満細胞の著明な浸潤が認められた。正常肝や、対照肝疾患では、胆管周囲への肥満細胞浸潤は目立たなかった。二重染色の結果、浸潤肥満細胞はほぼ全例がSCFのレセプターであるc-kit陽性であり、胆管上皮のSCF発現と有意に相関していた。

3.肝内結石症胆管上皮、及び周囲線維化部位における線維化関連因子(b-FGFやTNF- α)の発現

浸潤肥満細胞における線維化関連因子の発現を二重染色で検討した。多くの肥満細胞は、線維化促進因子として知られるb-FGFやTNF- α を同時に発現していたが、胆管上皮自身は陰性であった。胆管周囲の線維化促進に、肥満細胞が重要な役割を果たしていると考えられた。肝内結石症において胆管上皮に異常発現したSCF が、c-kitを有する肥満細胞を集簇・活性化し、

線維化促進因子の産性・放出を誘導する可能性が示唆された。

4.肝内結石症の胆管周囲線維化部位におけるヘパラン硫酸プロテオグリカン(HSPG)の性状

胆管周囲の線維化部位では HSPG の増性が顕著であった。HSPGは、b-FGFやヘパリン結合部位を有するケモカイン等と結合し、それらの物質を大量にプールすることで、肝線維化の遷延化に関わっている可能性が示唆された。

Report (2 results)


1999 Annual Research Report

1998 Annual Research Report

Research Products (1 results)

All Other

All Publications

[Publications] Koichi Tsuneyama,et al.: "Aberrant Expression of stem cell factor on biliary epithelial cells and peribiliary infiltration of c-kit expressing mast cells in hepatolithiasis and primary sclerosing chelamitis."Journal of Pathology. 1.89. 609-614 (1999) 

URL: <https://kaken.nii.ac.jp/grant/KAKENHI-PROJECT-10770074/>

Published: 1998-03-31 Modified: 2016-04-21